

2013年1月27日、オスプレイ配備撤回を求め行進する当時の県内市町村長ら。行進を妨害しようとする団体が「嫌なら日本から出て行け」などの言葉を浴びせる場面も見られた＝東京都中央区銀座



いちにち

おきたいと思いました。
今ガシハウズ新書の創刊第1号として「捨てない生きかた」を出したばかりだ。単に字が捨てられるだけでなく、アラスカや

30年くらいはいる。昔の服を着られるのは学生時代の体重55.5キログラムを維持しているからです。五木「なので「5」がラッキーナンバーなんです。1980年代末に3キ

〈本の中で、靴の思い出が歴史とともに語られているのも印象的だ。日本が敗戦し、僕たちは平壤を脱出して38度線を歩いて越えました。夜の暗闇を浦城丘の難民キャンプ

をやっていた時もありました。マジオの仕事も2代後半から関わってきました。小説家になってもそろそろ仕事を捨てないで続けます。「巨勢巡社」は北沢少女ジゴロの土筆です、

も空想を書き予定で、出版社と話を進めています。山は登る時よりも、下山の方がきれいな高山植物に気がついたりします。捨てないモノに囲まれて生きてきた時代の記憶を旅

新刊紹介
危機管理の内実
「防衛事務次官 冷や汗日記」(黒江哲郎著) 陸海空自衛隊計20万人超

起きていたか。政策決定危機管理の中核を歩んだ著者が明かすエピソードの一つが生き生き。さらに興味深いのは、長い役人生活を通じ、数々の失敗から学んだ処世訓。気が

依存からの脱却
「オーストリアは、

詩部賞受賞。

2019全国大会

「対立」(15年)である。いらまもなく最初の区分

報道の絶対量が増えただけ、多くの人にとって沖

対象は、その時々によって

であり、そして米軍である。

通して30年後で、責

で読めます。

ことを想定し、あらかじめ問題指摘をしておきたい。
四つの時代
第2次世界大戦後の本土と沖縄の新聞紙面を検証すると、四つの時代に分けることができる(詳細は拙著『沖縄報道』ちくま新書参照)。それぞれ「無理解」(1945〜52年)、「軽視・黙殺」(52〜2005年)、「政治」(05〜15年)、「対立」(15年)である。

コースが全国化することになる。端的に言えばそれは政治問題化したからである。沖縄戦をめぐる教科書検定問題で、大規模な農民集会在開催されたことはまだ記憶に新しいが、本土においてはその農民の怒りがネットではなく、沖縄でもめていて政府が困ったことになっているという政治課題として大きな報道がなされたということになる。

方針にあらう沖縄県民を日本社会にとって「異質なもの」として排除する対象とする風潮が生まれた。さらに2010年以降は、ネットが市民権を得た時期でもある。在特会を中心とする在日コリアンをターゲットした街頭行動やネットを利用した差別発言が瞬く間に広まった。社会的マイノリティーや弱い立場に向けられた攻撃対象は、その時々によって

だろう。そうしたなかで、沖縄メディアは変わっている、あるいはより明確に偏り報道だという言説も広がった。これも他の厚紙の紙面作りと比較して、根拠なき噂であることは検証済みである。そうしたなかで、「票」間には人が住んでいなかったといったウソに基づいた「神話」が力を持つようになった。これを後押ししたのは、政治家であり有名人であり、そして米軍である。

また、沖縄の立場に近く近づいているということだ。沖縄「神話」の虚構が露呈しているのと同様、明らかに本土の空気にも変化がみられている。ただし一方で、こうした変化や前述の四つの時代区分に重なるようにして明らかになりつつある状況が、07年以降の「主張」から18年の県知事交代以降の「分断」への変化だ。実際の工事完成は政府の楽観的な見通しで30年後で、責

本連載の過去記事は「愚かな風」「見張塔からすつと」(いずれも田畑書店)で読めます。

復帰50年の沖縄報道

がネット上では過激にしているところだ。社会的差別は一般に、社会制度上の差別に由来したり、社会慣習や空気の反映であることが多いが、先の名議市長選でみられた米軍再編交付金による一時的な経済振興策は、わかりやすい公的差別の一例でもある。本稿では5月に向け、さらに「沖縄」への関心が高まることに比例して、沖縄への関心が高まるであろうネット上では過激にしているところだ。社会的差別は一般に、社会制度上の差別に由来したり、社会慣習や空気の反映であることが多いが、先の名議市長選でみられた米軍再編交付金による一時的な経済振興策は、わかりやすい公的差別の一例でもある。本稿では5月に向け、さらに「沖縄」への関心が高まることに比例して、沖縄への関心が高まるであろう

攻撃対象に

しかし不幸なことに、2000年前後からの歴史の風直しや日米同盟強化の動きとなり、こうした政府

攻撃対象に

沖縄県民や抗議活動は今日に至るまでその対象になり続けている。13年オスプレイ強制配備反対の県内冒険による建日書銀座亭主に浴びせかけられた罵詈雑言は、その象徴例であった。また社会全般に安定志向が浸透するなか、被差別当事者からの声を誇張された被差別意識であることが、政府等への施策に「ヤリヤリ」反対しているだけで生産的でないとして否定する空気が強まっている。これが沖縄差別意識の根底に流れていることは否定できない

新聞論調の変化

しかし前述したように、関心の増大は明らかに日本全体の空気を染えつつある。それを新聞論調から確認しておこう。たとえば辺野古新基地建設に絞ってみても、20年前の全国版の新聞の基調は、①国家安全保障上やむなし②県民のわがまま・県の責任③唯一の選択肢④後戻りできず一

新聞論調の変化

的には完成見込みはないにもかかわらず、止まらない基地建設への既視感も広がっている。また、日本経済の縮図ともいえる沖縄経済の停滞にコロナが追い打ちをかけている状況がある。そうしたなかで、原発工

増えた報道の絶対量 関心高まり反発、攻撃も

増えた報道の絶対量 関心高まり反発、攻撃も

しかし不幸なことに、2000年前後からの歴史の風直しや日米同盟強化の動きとなり、こうした政府

新聞論調の変化

しかし前述したように、関心の増大は明らかに日本全体の空気を染えつつある。それを新聞論調から確認しておこう。たとえば辺野古新基地建設に絞ってみても、20年前の全国版の新聞の基調は、①国家安全保障上やむなし②県民のわがまま・県の責任③唯一の選択肢④後戻りできず一

新聞論調の変化

的には完成見込みはないにもかかわらず、止まらない基地建設への既視感も広がっている。また、日本経済の縮図ともいえる沖縄経済の停滞にコロナが追い打ちをかけている状況がある。そうしたなかで、原発工

琉球

スノード

寒さに凍りついた
毛布は幾層にも重な
眠り目撃して 夢の
ずっと仕事している
社会人生は「シヤ
ロクイン」オース
昔の恋人は焚き火の
由へ待つて
薄く広がって
消えるので
パチパチ
パチ...パチ
悲しみを抱いた頃
その度に深い湖に飲
戯れ言「イメーシ
あなたは人生何回
赤い歌はどれくらい
落とした「玉手は
当てもなく
人々(舌打ち)人々
進み続ける
鉄バケテリアになっ
虹色の皮膜を水面に
ひとりかくれんぼを
こは星のなり静か

「さんやま・さん」
人「煙草」にて詩
sent」の運営。
2019全国大会
詩部賞受賞。

◇第1、第

時評

山田 健太

(2月)

沖縄復帰50年の年を迎え、本土メディアも各層で特集が組まれている。その中で伝えられている沖縄を一言でまとめれば「大きく変わったが美は変わっていない」となるが、これは言論状況にも当てはまる。直近の少年失明事件と沖縄への投石等の抗議行為について、その事象関係はまだ明らかになっていないものの、ネット上では少年

の証言は作り話であると、自業自得だといった心なき言説が飛び交う。在沖米軍由来のオミクロン株感染拡大に関する玉城や二丁知事の「染みだし」発言に對しても、根拠なき米軍批判として非国民呼ばわりする書き込みが多数見られた。あきれや怒りを遥り越した絶望的な感情にさいなまれる、根強い沖縄差別感情

は占領(施政)下であり、主権回復を掲げた「日本」にとって、切り捨てた沖縄は意識の外にあつたというところになる。そして復帰の後、東京から1500キロ離れた沖縄の事件・事故は、本土にとっては関心の対象外の時代が続く。その象徴例は04年沖縄国際大学へのへり墜落時、東京ではほとんどニュースにならなかったことから明らかだ。しかしその後、沖縄の二

しかし不幸なことに、2000年前後からの歴史の風直しや日米同盟強化の動きとなり、こうした政府

沖縄県民や抗議活動は今日に至るまでその対象になり続けている。13年オスプレイ強制配備反対の県内冒険による建日書銀座亭主に浴びせかけられた罵詈雑言は、その象徴例であった。また社会全般に安定志向が浸透するなか、被差別当事者からの声を誇張された被差別意識であることが、政府等への施策に「ヤリヤリ」反対しているだけで生産的でないとして否定する空気が強まっている。これが沖縄差別意識の根底に流れていることは否定できない

しかし前述したように、関心の増大は明らかに日本全体の空気を染えつつある。それを新聞論調から確認しておこう。たとえば辺野古新基地建設に絞ってみても、20年前の全国版の新聞の基調は、①国家安全保障上やむなし②県民のわがまま・県の責任③唯一の選択肢④後戻りできず一

的には完成見込みはないにもかかわらず、止まらない基地建設への既視感も広がっている。また、日本経済の縮図ともいえる沖縄経済の停滞にコロナが追い打ちをかけている状況がある。そうしたなかで、原発工

「さんやま・さん」